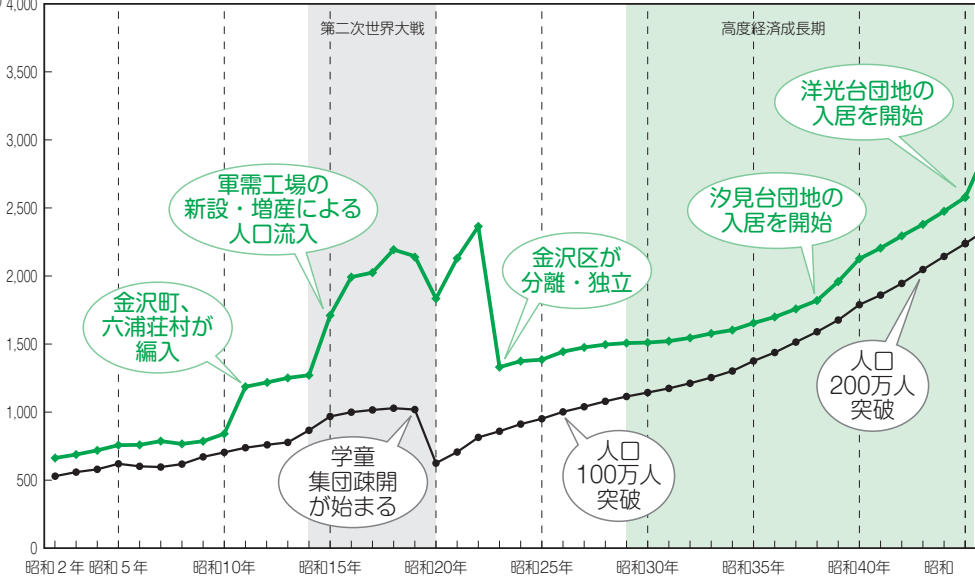


# 人口

## ◆横浜市と磯子区の人口の推移

〔横浜市〕

(千人) 4,000



昭和2年 昭和5年 昭和10年 昭和15年 昭和20年 昭和25年 昭和30年 昭和35年 昭和40年 昭和

区制施行により鶴見区・神奈川区・中区・保土ヶ谷区・磯子区が誕生(昭和2年)

ニューヨーク株式大暴落、世界恐慌始まる(昭和4年)

港北区・戸塚区が誕生(昭和14年)

横浜大空襲(昭和20年)  
西区誕生(昭和19年)  
南区誕生(昭和18年)

磯子区の一部が分区し、金沢区が誕生(昭和23年)

テレビ放送開始(昭和28年)

横浜開港1000年(昭和33年)

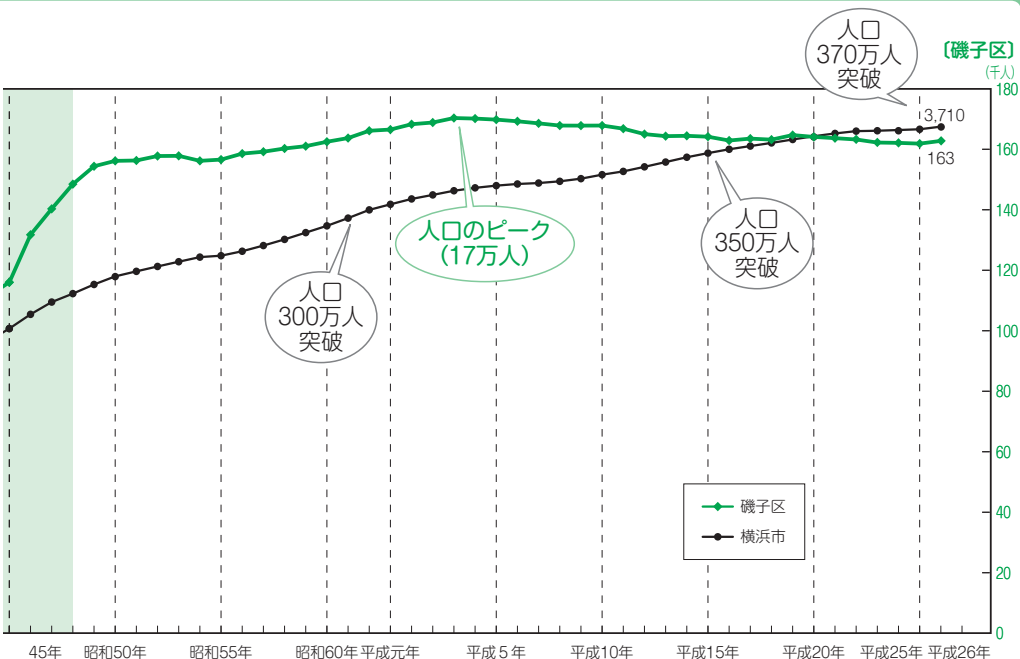
マリントワー完成(昭和36年)

東京オリンピック開催(昭和39年)

港南区・旭区・緑区・瀬谷区が誕生(昭和44年)

※昭和2～9年は公簿調査による戸籍人口、昭和10年以降は国勢調査及び推計人口調査によります。ただし、昭和5年は国勢調査、昭和16、23年は常住人口調査、昭和19～21年は人口調査によります。

【磯子区】  
(千人)



市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」が開催(平成26年3月)

区のマスケットキャラクター「いそっぴ」制定(平成23年)  
東日本大震災(平成23年3月11日)  
横浜開港150周年(平成21年)

磯子区制80周年(平成19年)

みなとみらい線開通(平成16年)  
2002 FIFAワールドカップ  
韓国・日本開催(平成14年) ↓ 決勝戦は横浜で

磯子区新総合庁舎が完成(平成11年)  
横浜国際総合競技場オープン(平成10年)  
磯子区制70周年(平成9年)

青葉区・都筑区が誕生(平成6年)  
横浜ランドマークタワーオープン(平成5年)

金沢シーサイドライン開通、  
横浜ベイブリッジ開通(平成元年)  
磯子区制60周年  
(区の木「梅」区の花「コスモス」を制定(昭和62年)  
栄区・泉区が誕生(昭和61年)

区のシンボルマークを制定(昭和58年)

横浜スタジアム完成、大通り公園開園(昭和53年)  
磯子区制50周年(昭和52年)

JR根岸線が全線開通  
石油危機(洗剤・トイレットペーパー不足が深刻化)  
(昭和48年)

※各年10月1日現在。ただし、昭和2～4年、6～9年は12月31日現在、昭和18年は12月1日現在、昭和19年は2月22日現在、昭和20年は11月1日現在、昭和21年は4月26日現在、昭和23年は8月1日現在。

## ◆年齢三区分別人口の推移

～少子高齢化がさらに進行～

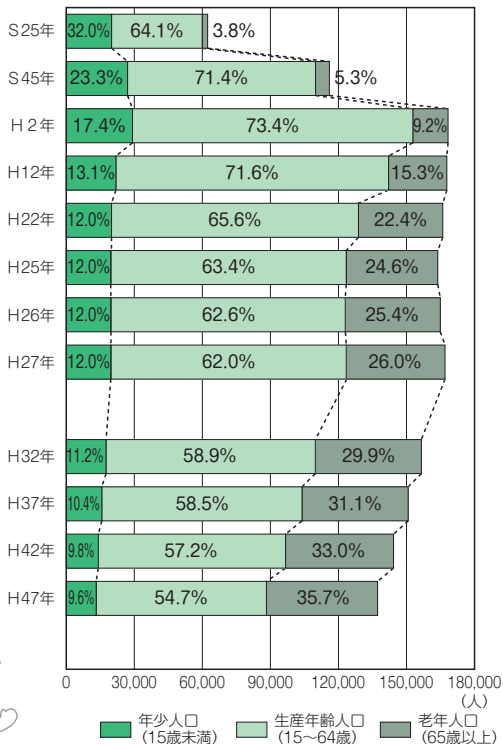
年少人口（15歳未満）の割合は低下傾向で推移し、平成2年には総人口に占める割合が20%を下回りました。平成17年から12%前後で推移していますが、少子化が進行している状況といえます。

一方、老年人口（65歳以上）の割合は、増加傾向で推移し、磯子区では平成22年に総人口に占める割合が20%を超え、その後も増え続けています。平成27年には区民の3.8人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

現在26.0%となっている磯子区の老年人口の割合は、2020年（平成32年）には約30%、2030年（平成42年）には約33%となる見込みだよ。

横浜市将来人口推計

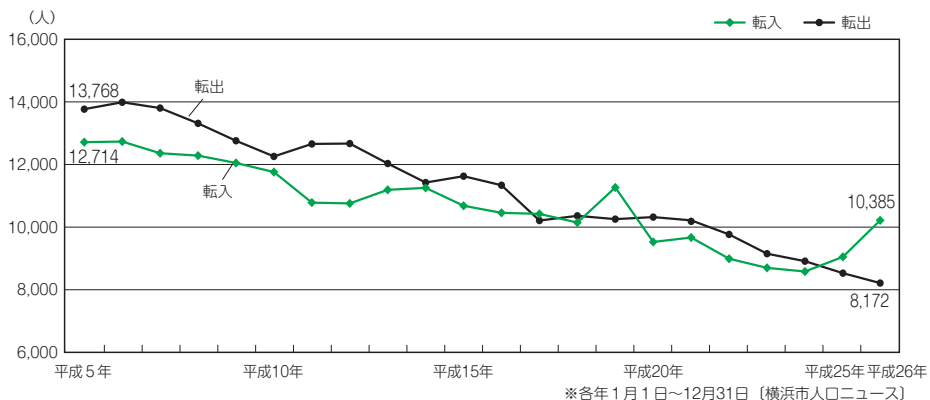
検索



※各年登録人口(3月31日現在)、H2年以前は国勢調査により掲載

## ◆人口異動の推移(磯子区)

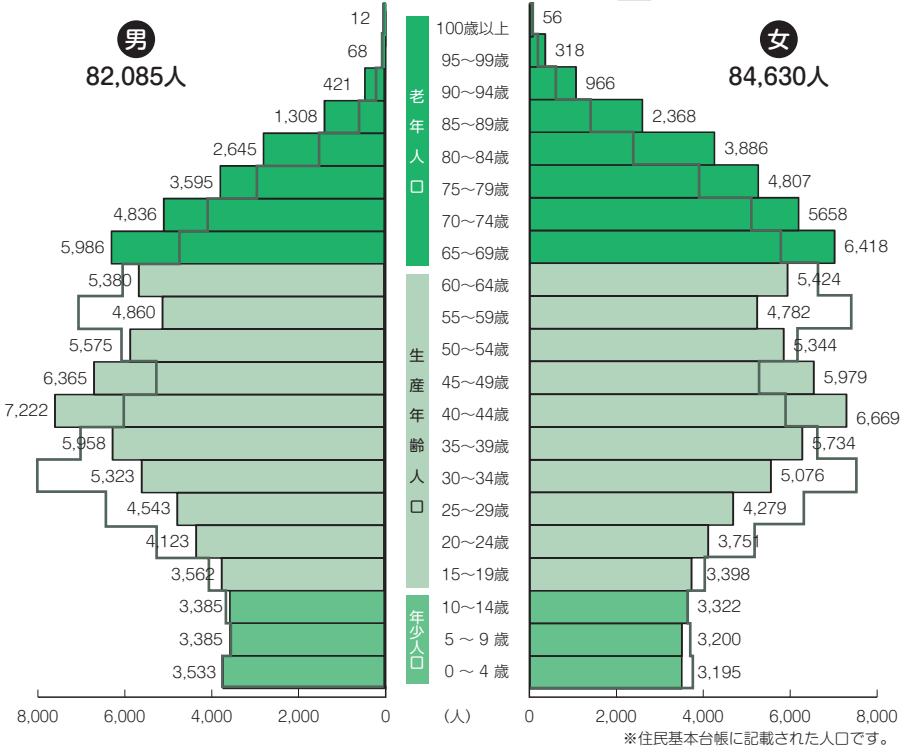
〈転入・転出の推移〉



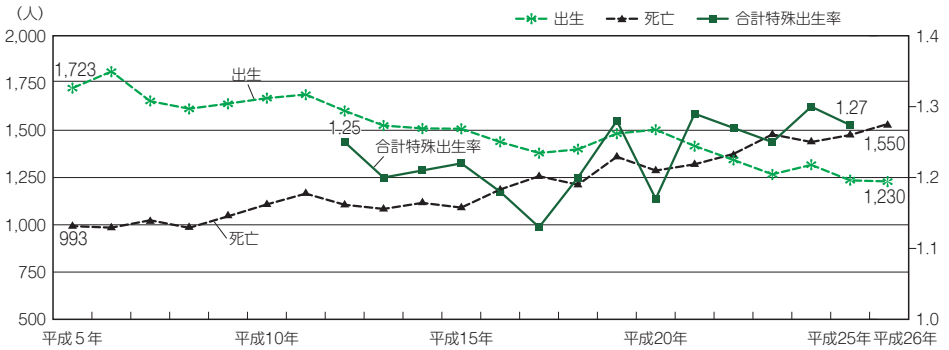
※各年1月1日～12月31日〔横浜市人口ニュース〕

# ◆人口ピラミッド(磯子区)

平成27年3月末日現在  
 ※ □ は平成17年3月末日現在

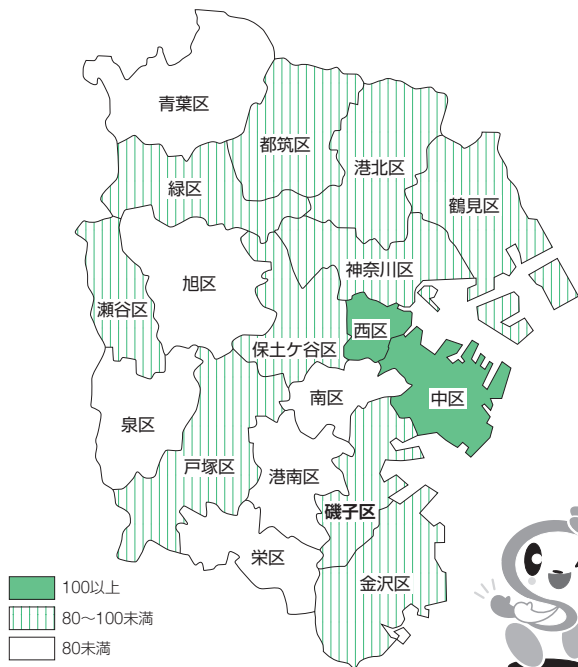


## 〈出生・死亡の推移〉～死亡者数はやや増加傾向～



※各年1月1日～12月31日  
 ※合計特殊出生率は、1人の女性が一生に産む子どもの平均数です。  
 ※年齢15歳～49歳の年齢5歳階級ごとに算出した出生率の合計で、平成12年～24年までの数値を掲載しています。

## ◆ 区別昼夜間人口比率



昼夜間人口比率とは、常住人口（夜間人口）に対する昼間人口の割合です。100を超えると通勤・通学等の流入が多く、その地域に昼間、人が集まっていることを示します。磯子区では、前回調査（平成17年）と比べて3.7ポイント、市全体で1.1ポイント上昇しました。

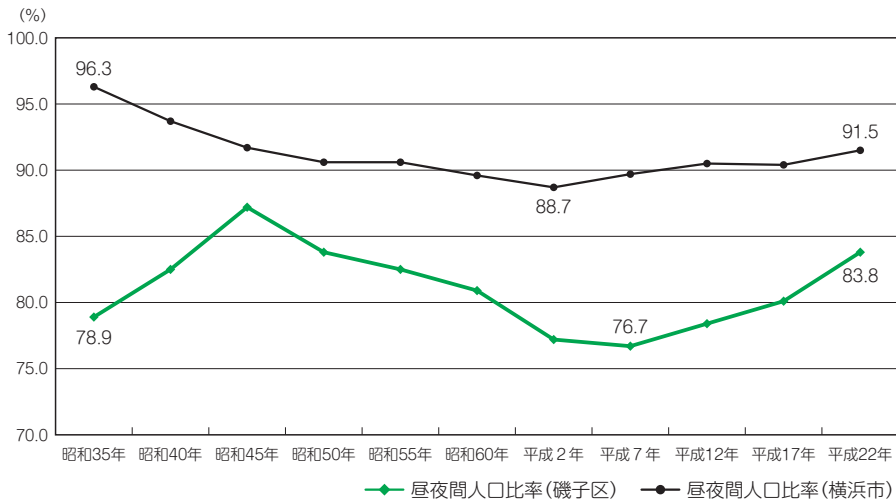
参考：西区 179.7%（全国13位）  
中区 166.6%（全国22位）

磯子区の  
昼夜間人口比率は83.8%で  
横浜市内では  
18区中、10番目だよ。  
（平成22年10月1日現在）



（平成22年国勢調査）

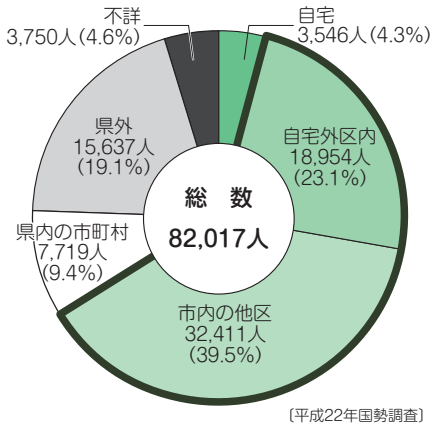
## ◆ 昼夜間人口比率の推移 ～上昇傾向に改善～



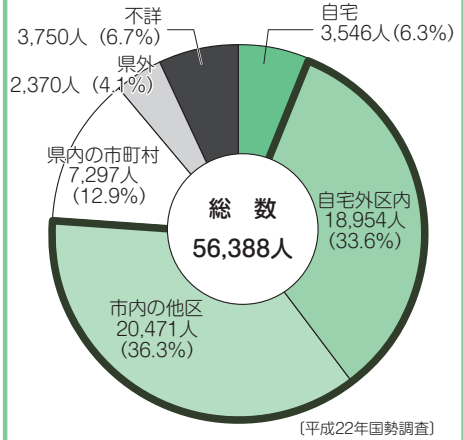
—●— 昼夜間人口比率（磯子区） —●— 昼夜間人口比率（横浜市）

（各年国勢調査）

### ◆磯子区民の通勤・通学先 (15歳以上)



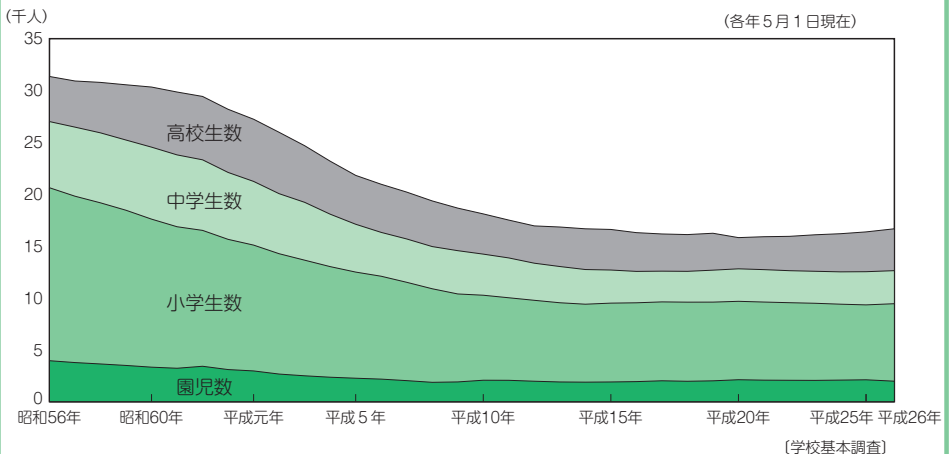
### ◆磯子区へ通勤・通学する人の住所 (15歳以上)



自宅で働く人を除き、市内で従業・通学する人の割合は、磯子区では62.6%(全市52.5%)で18区中1位だよ。(平成22年10月1日現在)

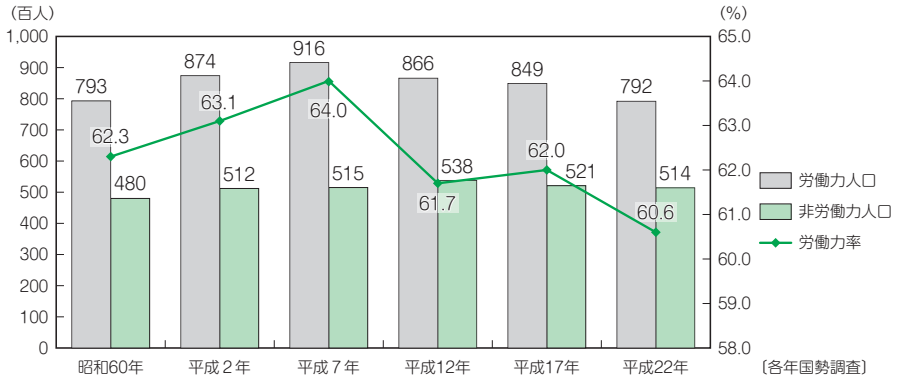
### ◆園児・児童・生徒数の推移(磯子)

平成26年は園児2,078人、小学生7,320人、中学生3,222人、高校生3,902人、合計16,522名となっており、ピーク時(昭和56年、合計31,357名)と比べてほぼ半減しており、明らかな少子化傾向が見られます。



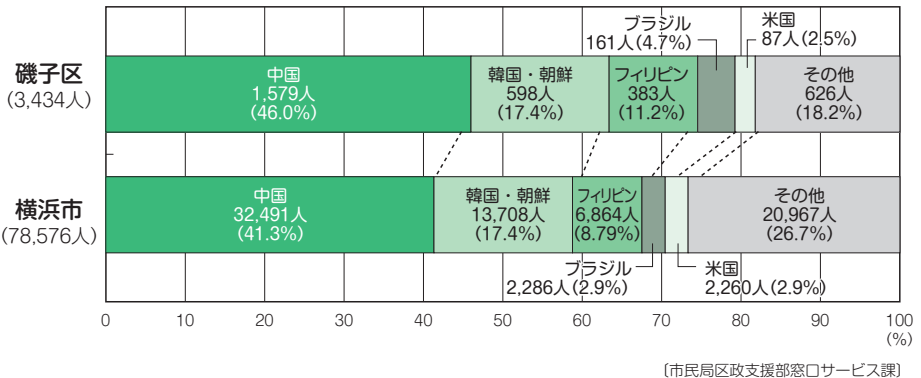
### ◆労働力人口 ～磯子区は大幅に減少～

労働力人口とは、満15歳以上の人口のうち、就業者と完全失業者（就業していないが、就職活動をしている失業者）の合計のことをいいます。磯子区の労働力人口は5年前と比べ6.7%も減少（全市1位）しており、市全体でも戦後初めて減少しました。



### ◆外国人人口 ～東南アジア諸国が7割超～

平成27年3月末日現在

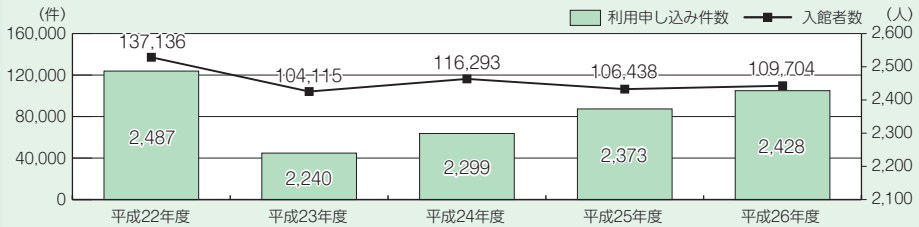


## 意外に知らない磯子区の数値

特徴のあるデータをいくつか見てみましょう。

### 〈公会堂の利用者数と利用件数の推移〉

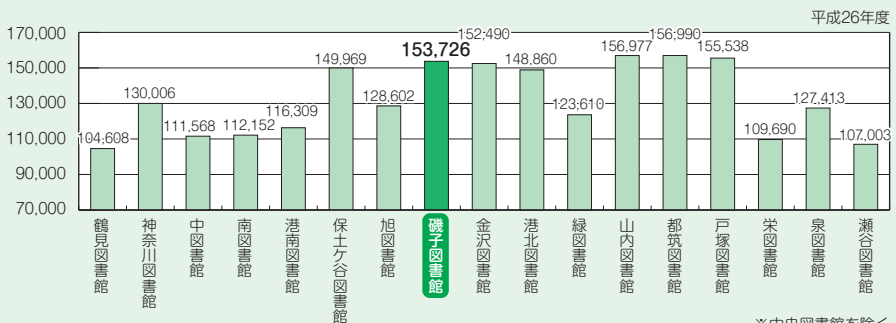
平成23年度から公会堂の入館者数は、ほぼ横ばいになっていますが、利用申し込み件数は年々増加傾向にあります。



(磯子区地域振興課)

### 〈横浜市内図書館の蔵書数比較〉

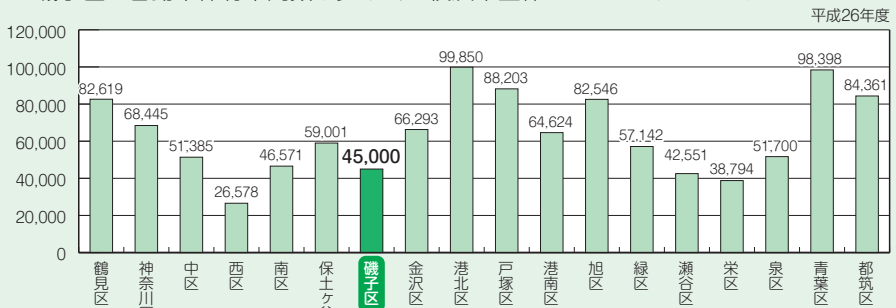
磯子図書館は17館中4位であり、内訳は一般書109,089冊、児童書44,637冊になります。



※中央図書館を除く  
(横浜市図書館年報2015)

### 〈自動車保有車両数比較〉

磯子区は自動車保有車両数が少なく、横浜市全体の3.9%となっています。



(国土交通省関東運輸局)